

## これまでの経過や背景、国等の動き、社会資源

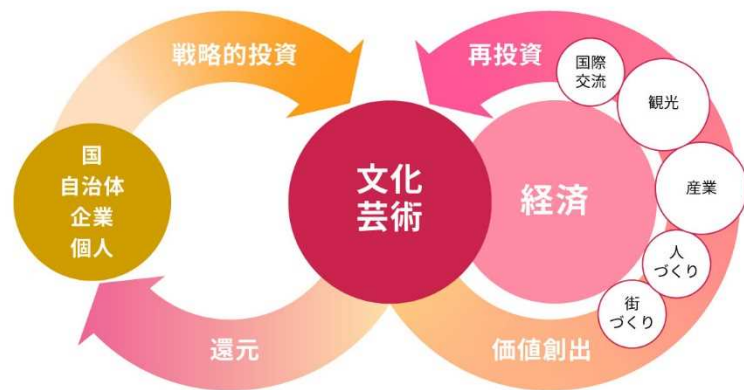
### 1 これまでの経過や背景

- ①H27年に第1期となる「大牟田市文化芸術振興プラン(2015～2019)」を策定し地域文化の振興に取り組んできた。
- ②本市の文化振興の状況や市民意識調査などの意見を踏まえR02年に第2期となる「大牟田市文化芸術振興プラン(2020～2023)」を策定し、文化芸術に親しみ心豊かに生活できるまちを目標とした施策を推進してきた。
- ③第2期文化芸術振興プランに基づいた取組みの過程において、令和02年7月豪雨や新型コロナウイルス感染症などの影響により市民が文化芸術に触れる機会が減少するなど、施策の推進に対して大きな影響が生じた。

### 2 国及び県の動き

- ①H13年に「文化芸術振興基本法」が制定され国における文化芸術を振興し心豊かな国民生活や社会の活性化を目指す基本方針が示され、県においてもH17年に「福岡県文化振興プラン」が策定された。
- ②H24年に「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」が制定され、劇場、音楽堂等の活性化を図ることにより実演芸術の振興や心豊かな地域社会の実現を目指すことが明記された。
- ③H29年に「文化芸術振興基本法」から「文化芸術基本法」に全面改訂され、文化芸術の社会における役割の拡大と担い手(行政・企業・市民)の多様化などの考えが示された。また同年に障害者文化芸術活動推進法が施行され、文化芸術活動を通じた障害者の個性と能力の発揮及び社会参加の促進を図ることが示された。
- ④H29年に国・地方自治体・企業・個人が文化への戦略的投資を拡大し、文化を起点に産業等他分野と連携した創造的活動によって新たな価値を創出、併せてその新たな価値が文化に再投資され持続的な発展に繋がる好循環を構築することを目的として「文化経済戦略」が策定され、文化芸術を起点とした価値連鎖の考えが示された。

### 文化芸術を起点とした価値連鎖(バリューチェーン)



出典：文化庁「文化経済戦略」

### 3 社会資源

#### ■文化施設(公共施設・民間施設)

大牟田文化会館・カルタックスおおむた・地区公民館(7)・リフレスおおむた・えるる・石炭産業科学館・ともだちや絵本美術館・総合体育館・ひまわりホール・イオンホール など

#### ■文化芸術活動団体(公共施設等で活動を行っている登録団体)

大牟田文化連合会・地区公民館定期登録サークル・地区公民館一般サークル・その他の文化芸術活動団体 延べ約290団体

## 大牟田市の文化芸術に関する各種調査

### 1 市民意識調査

#### ■調査概要

18歳以上の市民1,000人 回答者:437人(43.7%)

#### ■調査結果から見てきたもの

##### (1)文化芸術の鑑賞や参加について

新型コロナなどの影響により直接鑑賞する機会が減少。興味を持てるアーティストや作品に触れる機会を要望している。参加についても新型コロナなどの影響により文化芸術活動を行う機会が減少。魅力ある内容の活動への参加を要望している。

##### (2)文化芸術に関する情報について

情報が十分に届いていない(発信されなかった)。また広報誌からの入手が多いものの、紙媒体以外が増加傾向となっている。

##### (3)市民の文化芸術活動における公共施設等の利用について

活動の頻度などに応じた公共施設等を利用。文化施設での音楽公演を求めている市民が多い。関心がない、活動を行っていない市民については、求めているものが特定されていない。

##### (4)本市の今後の文化振興について

市民は気軽に親しむことができる身近で質の高い鑑賞型の文化芸術を要望。30歳代は、子どもや若者の文化芸術への関心を高めることを要望。子どもの文化芸術活動が充実していると思う市民は少ない。また学校での文化芸術活動を強く望んでいる。

##### (5)文化芸術活動の盛んなまちにするためのアイデアなど

市民は文化芸術に触れる(参加・鑑賞・体験)機会や文化芸術に触れるための条件や環境の整備などを望んでいる。また文化芸術に関する分かりやすい情報発信を望んでいる。文化芸術のイベントに対する高い関心や要望がある。

### 2 若者意識調査

#### ■調査概要

「えるる」で学習している16～30歳代までの市民 84人

#### ■調査結果から見てきたもの

##### (1)興味ある文化芸術の分野や関心を持つための取組みについて

若者は文化芸術への興味はあるものの、時間的余裕や近くで魅力的な催し物がないこと等から直接鑑賞の増加には繋がっていない。

##### (2)文化芸術に関する情報や文化芸術に関心を持つための方策について

若者の文化芸術に関する情報は紙媒体以外からの入手が多い。また学校における体験の機会の充実や子どもの頃から親しむ機会を要望している。

### 3 各学校や保護者への子どもの文化芸術に関するアンケート調査

#### ■調査概要

市内の小・中・特別支援学校校長 28人 市内の小学校4校の保護者 145人

#### ■調査結果から見てきたもの

##### (1)子どもが文化芸術に触れる(鑑賞や体験・経験)ことについて

学校、保護者共に文化芸術に触れることは重要であるとともに機会を与えたいと感じている。保護者は子どもが文化芸術に触れる機会は充実していないと感じており、その理由として、時間的・金銭的・環境的な要因が重なっている。

##### (2)本市における子どもの文化芸術活動について

保護者は子どもの文化芸術活動が充実していないと感じており、充実させるためには学校での鑑賞や体験の機会を設けること、そのための支援策も必要とされている。

### 4 文化芸術活動団体へのアンケート調査

#### ■調査概要

市民文化のつどい参加の文化芸術団体 17団体 地区公民館で活動している定期登録の文化芸術団体 76団体

#### ■調査結果から見てきたもの

##### (1)文化芸術団体の活動や組織面の課題、子どもや若者の参加・育成につながる取組みについて

会員の高齢化と会員数の減少、後継者不足が大きな課題。また活動資金の課題は一定の費用を投じて活動している団体によく見られる。子どもや若者の参加・育成につながる取組みを実践している、または望んでいる文化芸術団体が多い。

##### (2)発表の機会における課題について

活動や組織形態などによって発表の機会における課題の大きさや内容が異なっている。発表の機会を自ら企画している文化芸術団体は、イベントの告知や発表に係る人的支援を求めている。

##### (3)文化芸術団体からのアイデアなど

文化芸術活動を通じたさまざまな交流を望んでおり、具体的には、世代・分野・拠点・組織を越えた交流を望んでいることが判明した。またさまざまな機会を捉えての発表の場も望んでおり、併せてこれまでの発表の場の継続だけでなく、合同発表会や他の団体との交流発表会、これまでの発表会場とは異なる場所での発表など、趣向を凝らした発表を望んでいることが判明。

## 各種調査から導き出された策定の方向性

### 方向性 1

#### (1)さまざまな機会を捉えた文化芸術に触れる機会の創出

①体験できる文化芸術  
子どもを中心とした体験や学校教育の中での体験の充実。親子の触れ合いなどを通じた体験

#### ②魅力ある文化芸術

市民が興味を持つ文化芸術や多様なニーズに応じた文化芸術に触れる機会の充実。優れた文化芸術に触れる機会の創出

#### (2)気軽に文化芸術に触れることができる環境・条件の整備

①身近な場所で文化芸術に触れる機会の創出  
身近な公共施設や民間施設を活用した文化芸術の創出。身近な場所で気軽に発表できるための整備・支援。間接鑑賞も含めた文化芸術に触れるための整備・支援

#### ②文化芸術に触れるためのさまざまな配慮

社会的弱者や移動困難者等も気軽に触れるための配慮・支援、機会の創出。安心して文化芸術に触れることができる配慮・支援

#### (3)趣向を凝らした文化芸術情報の発信

触れてみたいと思う文化芸術情報の発信や年齢階層に応じた情報発信ツールの選択。文化芸術活動団体等の情報発信の支援

### 方向性 2

#### (1)身近な場所で魅力ある文化芸術に触れる機会の創出

#### (2)子どもの頃から文化芸術に親しむ機会の創出

### 方向性 3

#### (1)子どもが文化芸術に触れる機会の創出

さまざまな機会や身近な場所で体験できる機会を創出。情報発信の充実や環境などの整備

#### (2)学校が行う文化芸術活動への支援

学校の文化芸術活動を支援する取組み。学校に文化芸術を提供するための企画の提案や情報提供。提供する人材の発掘や育成

### 方向性 4

#### (1)文化芸術活動を行う市民を増やす

①市民が文化芸術に触れる(参加・鑑賞・体験)機会の創出  
身近な場所で触れることができる機会や子どもの頃からの触れる機会、多様な市民が触れることができる機会の創出

#### ②文化芸術の魅力発信の充実

文化芸術に関する情報や団体に関する情報発信の充実

#### (2)文化芸術団体の活動を支援する

##### ①組織や活動の活性化に向けた支援

活動拠点の確保や場の創出、活動や情報発信の支援、運営に対しての必要に応じた支援。文化芸術団体が抱える課題の解決につながる研修の企画など

##### ②文化芸術活動を通じた交流の機会の創出

文化芸術を通じた世代間交流、同一分野団体の相互交流、他の分野の文化芸術分野の団体、地域コミュニティ組織との交流

## 実現のための5つの取組み

### 文化芸術活動を ささえる

文化芸術活動団体の支援や交流、ボランティアの育成をはじめ、文化芸術に触れるための環境の整備など、文化芸術活動を支えることを進める。

### 文化芸術で未来を はぐくむ

子ども達の豊かな創造性や感性を育むとともに持続可能な文化芸術を推進していくために、子どもの頃から文化芸術に触れることができる取組みを進める。

### 文化芸術を身近で ためのしむ

文化施設のみならず、まちなかや身近な店舗などの身近な日常生活の中で気軽に文化芸術に触れたり交流するなど、楽しむことができることを進める。

### 魅力ある優れた文化 芸術を とどける

観たい、聴きたいニーズに応えるなど、質の高い優れた文化芸術を市民に届けることを進める。

### 文化芸術の魅力をつたえる

文化芸術や文化芸術団体に関する情報を発信するとともに、文化芸術に関心がない人などにも届けるなど文化芸術の魅力を伝えることを進める。